

令和2年度のマネジメント研修会を令和3年2月20日(土)にメトロポリタン秋田を発信元としたハイブリット開催で行いました。メトロポリタン秋田では3密を避け、感染対策をしっかり行ったうえで会員32名に対しWeb配信を行いました。前半はほぼ予定通りに進んでいたのですが、後半の教育講演で通信トラブルに見舞われ予定の時間を過ぎる結果となってしまいました。Web開催の流れも大体わかり、準備万端で臨んだのですが予期せぬ通信トラブルにはすぐには対応できず時間を超過してしまう結果となってしまった事にこの紙面を借りてお詫び申し上げます。次年度もWeb開催が主流となりますので、通信トラブルの事例をフィードバックしていき今後のWeb開催事業に生かせるように対処していく所存です。

今回の研修会では診療放射線の安全利用のための指針運用から見てきた現状と課題について3施設の現状報告、アンケート調査報告、教育講演とバラエティに富んだ研修会になりました。3施設の現状報告ではどの施設もDRLs2020を活用して自施設の被ばく線量を提示した上で患者さんに説明するために同意書の中に盛り込んだり、口頭説明資料として用意したり、電子カルテ掲示板に掲載するなど様々な工夫をしながら対応されていました。指針を策定するにあたり、他部門との連携を図りながら進める必要があり職員へ周知するための研修会を積極的に行っているとの報告でした。アンケート調査報告では指針運用には概ね協力的ではあるが一部のクリニックでは指針の周知やマンパワー不足による準備の遅れがある事、医療放射線安全管理責任者は医師が担当している施設が多いため医師との協力体制は欠かせないし本会研修会の継続が放射線技師の資質向上に必要であると報告されました。

教育講演ではコロナ禍における医療経済の動向と診療報酬の要点を詳しく話して頂きました。小児頭部外傷(新生児、乳幼児、幼児)への点数加算が出された事、先進画像加算として冠動脈CTの点数の変更、全身MRIの項目が新設された事。しかしいずれも施設基準を満たしている事が条件なので自施設が基準を満たしているか確認してほしいとの事でした。秋田県はコロナウイルスに対する補助金に対し他県よりも利用した施設があまり無い為、地域医療に貢献する為に補助金を積極的に利用してほしいとご講演頂きました。

ディスカッションでは前回のマネジメント研修会の講演もかなり役に立ったとの話や会員からの質問にも丁寧に答えて頂きました。各演者の皆様にはご協力頂き誠に有難うございました。引き続き会員の皆様へ情報提供、共有の場となるよう努めて参りたいと思います。

(文責:鈴木)

